

平成 28 年 3 月 30 日

総 務 大 臣 殿

三重県鈴鹿市住吉町 8947  
株式会社 鈴鹿メディアパーク  
代表取締役社長 加藤 正彦

番組審議機関関連について（報告）

下記の○印の事項について、放送法施行令第 7 条第 3 号イの規定により、別紙の書類を添えて提出します。

記

- 1 番組審議機関の名称変更
  - ・変更内容の新旧対比表
- 2 審議機関の組織及び運営に関する規程の変更
  - ・変更内容の新旧対比表
  - ・変更後の現状
- 3 審議機関の委員の変更  
様式 6-1 のとおり。
- ④ 審議機関の会議の議事録  
様式 6-2 のとおり。

第 36 回 Suzuka Voice FM 番組審議会 議事録

審議会開催日時 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 16 時 00 分～17 時 00 分

開催場所 Suzuka Voice FM 会議室

事務局：益川英明 (Suzuka Voice FM)

出席者：(敬称略) 山崎昭 亀井秀樹 長橋祐子 西山哲也

欠席者：(敬称略) 市野聖治 玉川登美男 加藤二三子

放送事業者側出席者：益川英明

委員長：山崎昭

委員総数 7 名

出席委員数：4 名

■番組名 障がい者支援番組「スマイル・エンジョイ」  
～人生をもっと「エンジョイ」できるために～  
パーソナリティ：岩田貴正、堤賢治

鈴鹿にて障がい児のための「放課後デイサービス」を運営する『株式会社エンジョイ』がプロデュースする番組。障がいを持つ子ども達のことを知ってもらうことと、地元の人達だけでなく地元企業の障がい児支援や障がい者雇用の意識向上などを図ることを目的としている。また番組では、色々なテーマにもとづいたちょっと真面目な意見交換コーナーはもちろん、隠れた才能を持つ天才・異才を発掘するコーナーなど、いろいろなコンテンツ満載でお届けする。

～番組内容を音源で検聴～

事務局：よろしくお願ひします。

委員長：まず始めに、少し番組の説明をお願いします。

事務局：今年 1 月からスタートしている番組で、障がい者支援に関するゲストの方をお招きして話を聞く番組です。

委員長：それでは、ご意見をお聞きしたいと思います。

委員：専門的な内容ばかりで、もう少しメリハリを付けて欲しい。  
今回、番組に 3 名登場するが、誰が喋っているか分からない。

委員：放送時間（毎週水曜日 午後 3 時から）に、少し違和感がある。  
どういった人に聴いて欲しいかを明確にした方が良い。

委員：聴かせ方に工夫が欲しい。会社の宣伝と公共性のバランスは考えた方が良い。

委員長：内容は良いと思うが、音だけで聴いていると分かりづらい。  
テーマは、毎回変わるのですか？

事務局：はい、毎回変わっています。

委員：ターゲットが限定されるので、1つのテーマで放送するには、少し長いのでは？  
今回、3名ともに男性だったので、余計に聴き取りにくかった。

委員：やはり、番組にメリハリが必要。

委員：何かコーナーでもあると、また違って聞こえるのでは？

委員長：ホッとする時間になる気がする。

委員：公共性を持ったラジオ局としては、こういった番組も必要だと思う。  
障がいを持つ子どものお母さんからの質問に答える展開にした方が、番組として生きると思う。

委員長：将来を見据えたアドバイスとかあると、参考になると思う。

委員：この番組に関して、何か反響はありますか？

事務局：リスナーさんからは、まだありません。  
正直、手探り状態で番組がスタートしましたが、最近、パーソナリティの2人が  
やっと慣れてきて、色々な案が出てくるようになってきました。

委員：番組に、プロのパーソナリティを入れると、進行がスムーズになるかも？

委員長：番組で、「手帳、手帳」と言っているが、正確に「障がい者手帳」と言って欲しい。  
障がいについて、よく分かっている2人が進行だと、説明が少なくなる。

委員：内容が多すぎるのかも？  
回数を分けて放送するなら、冒頭にあらすじを入れると分かりやすい。

事務局：番組の聴かせ方ですね？

委員長：聴かせ方も大切だが、事前告知も重要。  
より多くの方に聴いてもらえる努力は必要。

事務局：貴重なご意見ありがとうございました。

以上